

---

# 想像力

ポテトバサー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
想像力

【Nコード】  
N32560

【作者名】  
ポテトバサー

【あらすじ】  
どうもです。八作品目です。  
マンネリ化のお話です。

## （前書き）

どうもです。八作品目となりました。  
短編を書いていると発想力の大切さがわかります。

腹が減ったので俺は和風の簡易食品を口にした。

「・・・さすがに飽きたな」

だが飽きたとしても食べ続けなければいけない。理由は簡単、死んでしまうからだ。

「ふう・・・ 3Dムービーライナーでも見るか」

俺は電源を入れた。色鮮やかな立体映像が部屋中に現われた。今日はどうやら南米の特集らしい。一昔前のデータを修正しての再放送だ。まあ、そうでもしなければ植物なんて今じゃお目にかかれな

い。  
「これも・・・飽きた」

どんなに美しくても、それは嘘であり昔なのだ。そして・・・再放送なのだ。

「こうなったら散歩だな」

俺はイージーフライナーに乗り空中散歩へと出かけた。出かけたものの期待はしていなかった。景色らしい景色は無かった。暖かみのない無機質なデザインの建物が延々と並んでいるだけだった。地上に降りての買い物も同じようなものだった。無駄な機能ばかりつけた、訳のわからないデザインのものばかりが並ぶ。俺は家へと戻った。

「ったく・・・もう・・・」

俺は思い返した。最後に新商品が発売されたのはいつだったか・  
・確か七、八年前だったような。ああ、思い出した。プリンだ、  
プリンの新商品だ。プリンของネギ風味・・・もうコンセプトがわ  
からない。あれ以来、どの業界も新商品は一切出してない。

昔は不便だった。だから人は工夫、発見、想像をしてきたのだ。  
だがある世代から不便というものはほとんど無かった。生まれたと  
きから便利な世の中なのだ。人々はマイナスをプラスにするために  
頭を使うのだ。

「先人の知恵に頼り、自らの知恵を使わない。今こそ！ 今こそ新  
時代の幕を開けるときなのです！ 知恵と発想というツルハシを持  
ち、マンネリズム化した世界を開拓するのです！！」

俺が思いついたのはこれだけ。だが周囲の人々は奮起し夢から覚  
めたように、新と名のつくものを世に送り出した。世界は新たな開  
拓時代を迎えた。

「俺が思いついたのはこれだけ」と言ったが、やはり想像力は素  
晴らしいものだ。その言葉を武器に俺は国王になれたのだから。

**（後書き）**

読んで下さってありがとうございます。

自分もマナー化しないように気をつけたいと思っています。

それでは。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3256o/>

---

想像力

2011年1月16日04時36分発行